

# 洛陽新聞

派遣期間  
7月22日  
～  
7月29日  
発行者  
永倉圭



龍門石窟

大切にしています。

龍門石窟は代表的な観光名所で世界遺産。四百年以上かけて完成したともいわれており、大きささまざまな像が彫刻され、下から見上げた大きな仏像の迫力には圧倒されました。

## 唐三彩作りを体験

唐三彩は唐時代の陶器で、三色の組み合わせが多いことから、三彩と呼ばれています。博物館で陶芸品を観覧したあと、実際に唐三彩作りを体験。お皿に富士山と花火を描き、中国と日本を融合させました。



唐三彩博物館にて



作った唐三彩

## 歴史ある街・洛陽

岡山市子ども海外派遣事業に参加し、中国の洛陽市に行ってきました。ホームステイ体験から、日本とは異なる様々な文化に、より深く触れる貴重な機会となりました。

かつて十三もの王朝が都を置いていた場所、それが洛陽です。日本で京都が都だった頃は、京に行くことを「上洛する」と言い、当時の洛陽になぞらえた言葉でした。洛陽は都だったこともあり、歴史をとて

## 珍しい料理を堪能

楽しみだった食文化。この旅では

お魚をよく食べました。洛陽は内陸なので、日本ではあまり食べない川魚の料理。名前も分からないお魚でしたが、とても美味しかったです。また、岡山県と同様に果物の栽培が盛んで、食卓には毎回のよう、珍しい果物がたくさん並びました。



川魚の料理



フルーツ食べ放題

## 優しい第二の家族



ホストファミリーの武さんと

日本から来た僕を優しく受け入れてくれたホストファミリー。中国語が分からず戸惑っていた時も、英語や身振り手振りなどを交え、楽しく

## 編集後記

この岡山市子ども海外派遣事業の旅で、言葉や文化の違いを体験し、日本を中心に考えていた物事を、世界から見た日本という考えも合わせ持つことで、多角的な視点で捉えられるようになりました。この経験を活かして、国際交流により一層の理解を深めていきたいです。「謝謝。」

コミュニケーションを図ってくれました。その優しさのお陰で、出会いは笑顔、帰りは別れの寂しさで涙。帰る日の前夜に家族で鶴を折った事は忘れません。僕にとつて、第二の家族と思える存在になりました。



充実した笑顔で帰ってきました